

調査概要

項目	内容
調査名	マッチングアプリを利用した外国人との出会いに関する調査レポート
調査主体	セクションエイト編集部
調査対象	マッチングアプリで外国人と出会った経験のある人
調査期間	2026年4月15日～4月30日
調査方法	インターネットリサーチ
調査人数	300名
性別	男性／女性
年齢	20代～50代
地域	全国

※本調査は当サイト独自調査です。

Q1 | 外国人との出会いを求める主な目的はなんですか？【単一選択／回答者数:300名】

選択肢	回答数	割合
恋人・交際相手を作りたい	84名	28.0%
結婚相手を探したい	39名	13.0%
外国人の友達を作りたい	69名	23.0%
語学の練習・言語交換がしたい	57名	19.0%
異文化交流・趣味仲間を作りたい	33名	11.0%
特に目的はなく気軽に使っている	18名	6.0%
合計	300名	100%

今回の調査では「恋人・交際相手を作りたい」が28.0%で最多となりました。次いで「外国人の友達を作りたい」が23.0%、「語学の練習・言語交換がしたい」が19.0%と続きます。恋愛・婚活目的を合算すると41.0%に達し、外国人向けマッチングアプリが恋愛・婚活ツールとして広く活用されていることがわかりました。一方、語学や文化交流を目的とした利用者も全体の30.0%を占めており、利用目的の多様性が見て取れます。

Q2 | 外国人と出会うために使用しているマッチングアプリを教えてください。【複数選択／回答者数：300名／延べ回答数：363名】

選択肢	回答数	割合
Pairs(ペアーズ)	75名	25.0%
Wippy(ウィッピー)	66名	22.0%
with(ウィズ)	42名	14.0%
Tinder(ティンダー)	57名	19.0%
Bumble(バンブル)	33名	11.0%
Langmate(ラングメイト)	45名	15.0%
HelloTalk(ハロートーク)	24名	8.0%
その他	21名	7.0%
合計(延べ)	363名	121.0%

※複数回答のため合計は100%を超えます。割合は回答者300名を母数として算出しています。

最も多く利用されていたのはPairs(ペアーズ)で75名・25.0%でした。次いでWippy(ウィッピー)が66名・22.0%、Tinder(ティンダー)が57名・19.0%と続きます。

国内最大級の会員数を誇るPairsへの支持の高さが目立つ一方、韓国人との出会いに特化したWippyも高い人気を集めています。語学交流に特化したLangmateも15.0%と一定

の支持を集めており、目的別に複数のアプリを使い分けているユーザーの実態が浮かび上がりました。

Q3 | 出会った外国人の国籍を教えてください。【複数選択／回答者数:300名／延べ回答数:681名】

選択肢	回答数	割合
韓国	192名	64.0%
中国・台湾・香港など	129名	43.0%
タイ・ベトナム・フィリピンなど(東南アジア)	111名	37.0%
アメリカ・カナダなど(北米)	78名	26.0%
ドイツ・フランス・イタリアなど(ヨーロッパ)	54名	18.0%
インド・ネパールなど(南アジア)	48名	16.0%
中東・アフリカ・南米など	27名	9.0%
その他	42名	14.0%
合計(延べ)	681名	—

※複数回答のため合計は100%を超えます。割合は回答者300名を母数として算出しています。

出会った外国人の国籍で最も多かったのは韓国で192名・64.0%と突出した結果となりました。これはWippyやPairsを通じた韓国人との出会いが活発であることと一致しています。次いで中国・台湾・香港などが129名・43.0%、東南アジアが111名・37.0%と、アジア圏全体での出会いが多い傾向が明らかになりました。TinderやBumbleがアメリカ発祥であることから、北米出身者との出会いも78名・26.0%と一定数見られました。

Q4 | 外国人と出会う際に重視したアプリの選び方を教えてください。【複数選択／回答者数:300名／延べ回答数:528名】

選択肢	回答数	割合
外国人ユーザーが多いこと	138名	46.0%
自分の目的(恋活・友達・語学)に合っていること	120名	40.0%
国籍・言語で検索・絞り込みができること	93名	31.0%
翻訳機能が搭載されていること	84名	28.0%
安全対策・本人確認が充実していること	72名	24.0%
無料または料金が安いこと	21名	7.0%
合計(延べ)	528名	—

※複数回答のため合計は100%を超えます。割合は回答者300名を母数として算出しています。

アプリ選びで最も重視されたのは「外国人ユーザーが多いこと」で138名・46.0%と最多となりました。次いで「自分の目的に合っていること」が120名・40.0%、「国籍・言語で絞り込みができること」が93名・31.0%と続きます。

翻訳機能の有無を重視する回答も84名・28.0%と高く、言語の壁を感じているユーザーが一定数いることがわかりました。安全対策を重視する声も72名・24.0%あり、国際ロマンス詐欺などのリスクへの意識の高まりが見て取れます。

Q5 | マッチングアプリを通じて、外国人との出会いで具体的な成果はありましたか？【単一選択／回答者数:300名】

選択肢	回答数	割合
外国人と交際・恋愛関係になった	72名	24.0%
外国人と結婚・婚約した	18名	6.0%
外国人の友人・友達ができた	84名	28.0%
語学力が向上した・語学練習の相手があった	66名	22.0%
成果はまだ出ていない	39名	13.0%
特に成果はなかった	21名	7.0%
合計	300名	100%

何らかの成果があったと回答した割合（交際・結婚・友人・語学向上の合計）は240名・80.0%と、約8割のユーザーがアプリを通じて具体的な成果を実感していることがわかりました。

中でも「外国人の友達ができた」が28.0%と最多で、次いで「語学力が向上した」が22.0%、「交際・恋愛関係になった」が24.0%と続きます。「外国人と結婚・婚約した」という回答も6.0%あり、国際結婚という形で実を結ぶケースも少なくないことが示されました。

Q6 | 外国人とのやり取りで困ったことはありますか？【複数選択／回答者数:300名／延べ回答数:462名】

選択肢	回答数	割合
言語・コミュニケーションの壁を感じた	153名	51.0%
文化・価値観の違いに戸惑った	108名	36.0%
相手が詐欺・不審なアカウントだった	75名	25.0%
距離（在住地）が遠く会いにくかった	69名	23.0%
特に困ったことはなかった	57名	19.0%
合計（延べ）	462名	—

※複数回答のため合計は100%を超えます。割合は回答者300名を母数として算出しています。

外国人とのやり取りで最も多かった困りごとは「言語・コミュニケーションの壁を感じた」で153名・51.0%と過半数に上りました。

次いで「文化・価値観の違いに戸惑った」が108名・36.0%と続き、言語面だけでなく文化的な摩擦も課題として浮かび上がっています。「相手が詐欺・不審なアカウントだった」という回答も75名・25.0%あり、国際ロマンス詐欺への警戒が必要であることが改めて示されました。翻訳機能や本人確認機能が充実したアプリを選ぶことが、これらの課題を解消する有効な手段といえるでしょう。